

いかるが

斑鳩



5月号の目次

- 2 和を以て斑鳩を創る
-令和2年度予算-
- 6 第2期斑鳩町子ども・子育て
支援事業計画を策定
- 8 斑鳩文化財センターだより
- 9 図書館だより
- 10 住民活動センターだより
- 11 特殊詐欺などの被害防止
対策機能がついた機器の
購入費用を一部助成
- 12 住まいの耐震化について
- 14 まちの情報
- 18 避難行動要支援者制度
- 20 保健センターだより



王寺駅へのコミュニティバス乗入れ開始!

掲載しているイベント等の情報は、4月17日時点での情報です。新型コロナウイルス感染症の影響に伴う最新情報は、町ホームページをご確認いただくか、担当課へお問い合わせください。



和を以て斑鳩を創る

令和2年3月25日、斑鳩町の令和2年度予算が、第1回斑鳩町議会定例会での審議を経て成立しました。今回の特集では、町長の施政方針や重要施策の概要などを紹介します。

「オール斑鳩」で創りあげる

町長として2年目となる令和元年度は、より住民の皆様へ寄り添い、対話を重ねながら、「新しい斑鳩」の創造に向けて取り組まれました。

具体的には、小・中学校の教室などへのエアコン設置を完了させ、中学校の和式トイレの洋式化に着手するなど、子どもたちが心地よく学習できる環境づくりを行いました。小学校においては、コンピュータ室のパソコンをタブレット型に更新するほか、外国人英語指導助手を全小学校に配置するなど、時代に応じた教育の充実に取

斑鳩町長

中西和夫

り組みました。また、官民連携協定を締結するなど、民間企業のノウハウ・技術を活用した観光および産業振興に取り組むとともに、西和5町の広域連携により、西和医療センター内に病児保育施設を整備するなど、近隣市町村や民間企業などと連携した施策をすすめました。

令和2年度は、法隆寺参道沿いに町が誘致したマルシェやレストランを複合した宿泊施設が新たにオープンするとともに、聖徳太子1400年御遠忌を迎え、二層のにぎわいと活気が生まれるものと期待しています。

令和2年度の町政運営

この好機を町の活力とし、先人たちがたゆまぬ努力で築きあげてきたこの素晴らしい斑鳩を、さらに希望に満ちたものとし、次の世代にしっかりと引き継ぐため、斑鳩に関わる全ての力を結集させ、「オール斑鳩」で「新しい斑鳩」の創造を加速させていきます。

令和2年度では、学校教育の充実として、プログラミング教育の実施やさらなる教育のICT化をすすめるため、令和5年度までの4年計画で児童生徒1人1台の教育用パソコンの導入や大容量の



新しい斑鳩を創る 5つの柱

町民が「誇り」を感じ、誰もが「行きたい」と感じるまちづくり

マルシェ・宿泊施設の誘致や、県との連携によるまちづくりの推進、広域周遊観光促進のための環境整備など、まちのにぎわいを創出します。



世界文化遺産のあるまちにふさわしい教育のまちづくり

プログラミング教育などによる教育のICT化、中学校の照明設備のLED化や和式トイレの洋式化など、すべての子どもたちが元気に学び成長する環境を整備します。



子育てがしやすく働く女性が輝くまちづくり

ファミリー・サポート・センター事業や近隣自治体との広域連携による病児保育事業、産前産後サポート事業などにより、安心して子どもを育てられる環境を整備するほか、女性の起業などを支援します。



誰もが「住み続けたい」と願うまちづくり

コミュニティバスの王寺駅乗入れや公民館のバリアフリー化など、利用者の利便性向上をはかります。また介護予防対策の推進、高齢者の雇用促進施策など、誰もが健康で生きがいのある生活を実現します。



安心して生活ができるまちづくり

県との連携による河川改修、防災ハザードマップの更新、国土強靱化地域計画の策定など、安全・安心のまちづくりを推進します。また、農地空間の活用、担い手の育成などの農業改革の推進をはかります。



通信ネットワークの整備などをすすめていきます。

公共交通の整備については、コミュニティバスの王寺駅への乗入れが実現しました。これに伴い、さらなる利便性の向上を図るため、バスの位置情報や停留所の時刻表を確認できる、位置情報システムを導入します。

また、県とのまちづくり連携協定の取り組みについては、法隆寺周辺における「歴史・観光まちづくり」の推進やJR法隆寺駅周辺の交通結節性の向上など、町が抱える課題について県と協議を行い、「まちづくり基本計画」の策定をすすめます。

さらには、ファミリー・サポート・センター事業の開始や近隣自治体との広域連携による病児保育事業の実施など、子育て施策の充実をはかるとともに、公民館のバリアフリー化や国土強靱化地域計画の策定など、誰もが「住み続けたい」と願うまちづくり、安心して生活ができるまちづくりをすすめます。

一方で、町財政については、超高齢化社会の進展などに伴い、財源不足が続く厳しい状況が見込まれています。限りある財源を有効に活用するため、事業の執行にあたっては、最小限の経費をもって最大の効果がはかれるよう、職員とともに

創意工夫を凝らしながら、計画的かつ効率的な財政運営を推進していきます。

最後になりましたが、全国的に新型コロナウイルス感染者が増加し、政府において、法に基づく緊急事態宣言が発令されたなか、本町でも、対策本部を設置し、学校の休業や施設の休館など感染拡大防止対策に取り組んでいます。この状況がいつまで続くか、わからない、これまで経験したことのない大変な時ではありますが、聖徳太子の説かれた「和の心」で町民一体となり、この危機を乗り越えていきたいと考えていますので、皆様のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

90億3千万円 前年度比1億3千万円(1.5%)増

問合せ 財政課 (☎内線253)

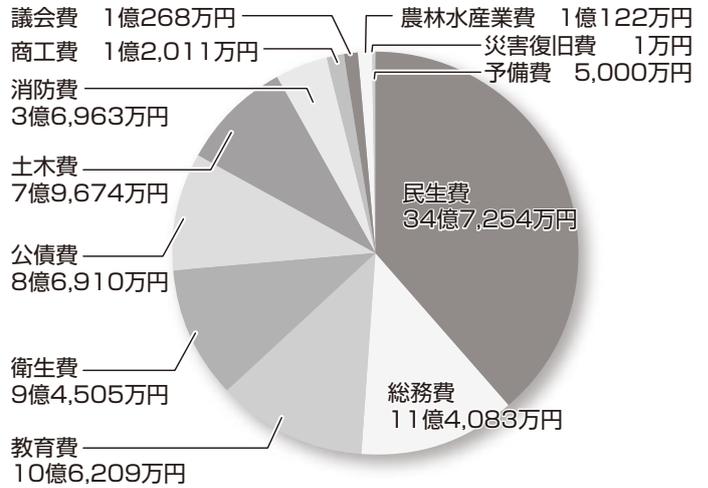
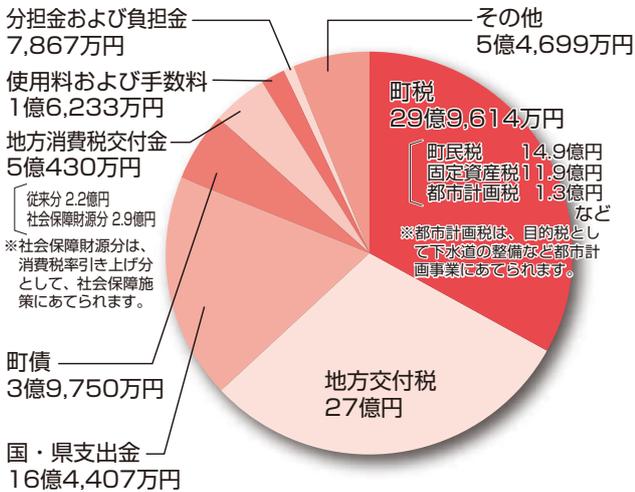
一般会計予算の内訳

歳入

90億3千万円

歳出

90億3千万円



注目 町民1人当たりで計算すると……?

令和2年1月1日現在の人口(28,338人)で計算しています。

1人当たり予算総額
約**31.9万円**

民生費

子ども・高齢者などの福祉の充実に



約12.3万円

総務費

町役場の運営、文化振興などに



約4.0万円

教育費

教育・生涯学習の振興に



約3.7万円

衛生費

環境・保健衛生の向上に



約3.3万円

公債費

借りたお金の返済に



約3.1万円

土木費

道路・公園やまちづくりに



約2.8万円

消防費

消防・防災に



約1.3万円

商工費

商業・観光の振興に



約0.4万円

農林水産業費

農林業の振興に



約0.4万円

第4次斑鳩町総合計画に基づく主な事業の内容（一般会計）



● 文化の香り高く心豊かなまちづくり

■ 公民館のバリアフリー化	2,800万円
■ 中央公民館駐車場の整備	600万円
■ いかるがホールの設備改修・更新	3,000万円
■ 聖徳太子1400年御遠忌「和のあかりプロジェクト」の実施	212万円



● すこやかに生き生きらせるまちづくり

■ 近隣自治体との広域連携による病児保育事業の実施	387万円
■ ファミリー・サポート・センター事業の実施	286万円
■ 私立幼稚園保育料等無償化の実施	8,000万円
■ 保育園の和式トイレの洋式化	300万円



● 潤いのある魅力的なまちづくり

■ コミュニティバスの王寺駅乗入れなどの実証運行	2,240万円
■ 生活道路の改修	1,600万円
■ 橋りょうの定期点検と補修設計の実施	1,650万円
■ 県との連携によるまちづくりの推進	870万円



● 安全で快適なまちづくり

■ 鳩水園の耐震補強の実施	3,540万円
■ 国土強靱化地域計画の策定	400万円
■ 防災ハザードマップの更新	155万円
■ 自治会などが行う防犯カメラ設置への助成	240万円



● 活力とにぎわいのあるまちづくり

■ 震災対策農業水利施設の整備	1,478万円
■ 世界遺産を活かした観光の推進	368万円
■ まちなか観光促進のための環境整備・情報発信などの実施	587万円
■ 桜池の耐震工事に伴う測量・設計	169万円



● とともに築く協働のまちづくり

■ 自治会などが行う地域集会所整備などへの支援	4,425万円
■ 活動提案制度などによる参加と協働のまちづくり	283万円
■ 公共施設等の個別施設計画の策定（令和元年度からの2年事業）	693万円
■ 第5次斑鳩町総合計画の策定（平成30年度からの3年事業）	269万円

特別会計等予算の内訳

特別会計予算

■ 国民健康保険事業特別会計	29億7,450万円	（前年度比▲1億2,710万円）
■ 介護保険事業特別会計（保険事業勘定）	25億6,350万円	（前年度比 +4,470万円）
■ 介護保険事業特別会計（介護サービス事業勘定）	890万円	（前年度比 +50万円）
■ 後期高齢者医療特別会計	4億8,720万円	（前年度比 +3,370万円）

企業会計予算

■ 水道事業会計	10億5,012万円	（前年度比 ▲4,531万円）
■ 下水道事業会計	17億9,526万円	（前年度比▲1億3,282万円）